

青山大人(あおやまやまと) 県議会報告かわら版60号

平成 26 年 5 月 27 日発行 青山大人事務所 土浦市乙戸 801-2

電話 029-828-7011 FAX 029-828-7012 メール info@aoyamayamoto.net

★ブログでは主に県議会での活動について、フェイスブックでは、日常の活動やプライベートについて公開しております。是非、そちらもご覧になってください。



●閉会中土木委員会現地調査

現在県議会は閉会中ですが、委員会は随時開催されております。因みに次回の県議会は6月4日からです。先日は新治地区の皆さまから要望の多い、県道藤沢荒川沖線バイパス約 2.3km 区間の進捗状況を視察しました。この路線が開通すれば新治地区の国道 125 号からつくば市中心部の東大通りまでの所用時間がかなり短縮されます。工事中の橋梁部もある程度完成しております。今年度末に開通できるかどうかといった状況です。

●東京駅乗り入れ要望をJR本社へ。

先日、藤田、郡司両参議院議員を筆頭に我が党所属の議員約 10 名で新宿の JR 東日本本社へ、「一本でも多くの常磐線の東京駅乗り入れ実現」への要請へ行きました。

「常磐線の東京駅乗り入れに係る要望書」を渡すとともに、宇都宮線と高崎線は、新幹線や快速電車で既に東京駅及び山手線主要駅へのアクセスを持つのに比べ、常磐線は新しくできる東北縦貫線しか東京駅に直接乗り入れできない点を配慮して頂きたいこと、さらに通勤電車及び特急電車の双方において常磐線の東京駅乗り入れ本数を充分割り当てられるように重ねて要望しました。

地元商工関係団体の皆さまの長年の活動により東京駅乗り入れが実現いたしました。年末のダイヤ発表まで残り半年、あとは一本でも多くの常磐線が東京駅に乗り入れできるよう、それぞれの立場でできることをやっていきます。

●旧土浦中学校本館修復活動。

土浦市真鍋にある明治 30 年(1897)に創立された旧土浦中学校本館(明治 37 年建設)は、ゴシック

調の外観で、4本のコリント式柱の玄関口と教会をイメージさせるような塔が配置され、明治期の木造洋風建築、いわゆる日本の近代建築を代表する建築物として高く評価され、文化庁から昭和51年(1976)に旧制中学校校舎の重要文化財第一号に指定されました。最近では、国の重要文化財というよりもNHK連続テレビ小説「おひさま」で主人公が通った安曇野女学校として使用されたり、ドラマ「坂の上の雲」や「長谷川町子物語」、映画「岡倉天心」など大ヒットした映画やドラマ、CMでのロケ地として有名でもあります。

さて、旧土浦中学校本館は竣工して110年余り経過したため、老朽化が著しくその修復に向けて、現在取り組んでおります。この改修運動に関わる中で、改めて旧土浦中学校本館の文化財としての価値を実感するとともに当時の建築技術の高さに驚くばかりであります。さらに、当時の茨城県予算の約6%にあたる多大な費用を投じて建設されたという事実から、いかに明治維新後の新政府が日本の近代化に向けて教育に重点を置いていたかを知ることができます。

現在、改修に向けて調査費がついたところであり、これからが正に歴史的建造物を後世に残すための改修に向けての正念場であります。同時にこの価値を子どもたちに還元できるような活用方策も考えていかねばなりません。例えば道徳や歴史の授業などで活用したり、国際教育の一環として筑波大などの留学生と高校生の交流会などで活用するなどです。さらに将来的には旧土浦中学校本館から水戸街道、真鍋の坂下、中央一丁目の中城通りそして土浦城と歴史的価値を生かした街づくりの観光拠点として、中心市街地を周遊したくなるような魅力ある街並みにするきっかけにもしたいと思っております。

～青山大人(あおやま やまと)の略歴～

1979年土浦市生まれ。現在35歳。荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、土浦一高、慶応義塾大学経済学部卒。2006年12月に県議会議員初当選(当時、全国最年少の都道府県議会議員)。2010年12月の県議会議員選挙にて2期目当選。2008年1月に第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表団に選抜される。街の活性化のため映画ロケを地元へ誘致するなど議会以外でも精力的な活動を展開。東日本大震災時は翌日から市内の水道復旧状況等をいち早くブログで情報発信し、一日での閲覧者が最大35000件を記録。また、福島県や宮城県への被災地支援活動が新聞等で大きく掲載される。県議会土木企業委員会、予算特別委員会。土浦消防団第27分団員(土浦市操法大会へ4度出場)。現在、某大学受験予備校にて、高校三年生に対して世界史の講師も務めている。